

## 基本目標6

## 文化財・伝統文化の保存・活用・継承

## 文化財・伝統文化の保存・活用・継承

学校教育  
基本目標1・4社会教育  
基本目標5文化財・伝統文化  
基本目標6スポーツ  
基本目標7・8

## ■現状と課題

- 県内各地域の歴史や文化の証である文化財・伝統文化を守り育てるとともに、確実に次世代に継承していくため、文化財・伝統文化の適切な保存・管理が必要です。
- 文化財・伝統文化が、地域の人々の誇りや絆、文化的アイデンティティの礎であることに留意しつつ、これらを積極的に活用し、文化的特色を活かしたまちづくりや観光振興・地域活性化に繋げることが求められています。
- 積極的な情報発信を通して、県民が文化財・伝統文化に親しみ、理解を深める機会を充実させるとともに、継承者育成のための取組強化が求められています。

国・県指定文化財件数

平成27年4月現在

国指定・選定		県指定		合計
国宝	4	—	—	4
重要文化財	83	有形文化財	470	553
重要無形文化財	1	無形文化財	2	3
重要有形民俗文化財	4	有形民俗文化財	13	17
重要無形民俗文化財	6	無形民俗文化財	50	56
特別史跡	1	—	—	1
史跡	39	史跡	105	144
特別名勝	—	—	—	0
名勝	3	名勝	7	10
特別天然記念物	2	—	—	2
天然記念物	21	天然記念物	78	99
重要伝統的建造物群保存地区	1	—	—	1
重要文化的景観	3	—	—	3
選定保存技術	1	選定保存技術	0	1
合計	169	合計	725	894

## ■主な取組

## ①文化財・伝統文化の保存

文化財・伝統文化を守り育てるとともに、確実に次世代に継承していくため、国・県の指定・選定・登録制度などを活用し、保存・管理の徹底を図ります。

- 文化財の指定・選定・登録を通じた、適切な保存・管理の推進
- 埋蔵文化財センターの移転整備による、収蔵品の適切な保存・管理の徹底
- 市町村教育委員会と連携した有形文化財の状況把握の徹底
- 地域の文化財を守り伝えていくための防犯・防災対策の強化
- 文化財保護指導委員の増員や市町村、地域住民と連携したパトロール活動の充実
- 文化的景観や伝統的建造物群など、地域全体を歴史・文化空間と捉えた面的な保存の推進

## ②文化財・伝統文化の活用

文化的特色を活かしたまちづくりや観光振興・地域活性化等につなげるため、地域の文化財・伝統文化の積極的活用を図ります。

- 有形文化財や記念物に指定された文化財などの修復現場の公開をはじめ、文化財を核にした観光戦略の展開
- 文化財・伝統文化をストーリー化した「日本遺産」の認定促進による地域の活性化
- 教育遺産の世界遺産登録に向けた環境整備
- 埋蔵文化財センターの展示内容の充実と県・市町村等の文化施設が連携した展示・公開の推進
- 文化財を紹介する案内板等の整備・充実



日本遺産子どもガイド（咸宜園）

## ③文化財・伝統文化の継承

無形文化財や民俗文化財などの文化財・伝統文化に親しみ、理解を深める機会を充実するとともに、それらの文化財・伝統文化を確実に次世代に継承するための基盤整備を推進します。

### <学ぶ機会の充実>

- 無形民俗文化財などの伝統文化を鑑賞し、体験する機会の充実
- 子ども神楽保存団体など文化財愛護団体<sup>(※35)</sup>の活動発表機会の充実
- 県立歴史博物館・県立先哲史料館・埋蔵文化財センターの訪問講座や体験学習の機会の充実

### <継承に向けた基盤整備>

- 文化財愛護団体相互のネットワークづくりや指導者講習会の開催
- 地域に伝わる伝統文化の伝承教室や文化財の保存技術講習に対する支援を通じた後継者の育成
- 文化財・伝統文化のデジタル・アーカイブ化や積極的な情報発信の推進



園児の発掘体験

## 目標指標

指標名	基準値	目標値		
		年度	H31年度	H36年度
国・県指定の文化財数	894件	H26	920件	945件
県立歴史博物館・県立先哲史料館・埋蔵文化財センターの利用者数	10.1万人	H26	11.3万人	11.5万人

※35 文化財愛護団体……身近な文化財を大切に、郷土を愛する心を涵養することを目的として各地に結成されている団体のこと。小・中学生を中心とした文化財愛護少年団などがある。